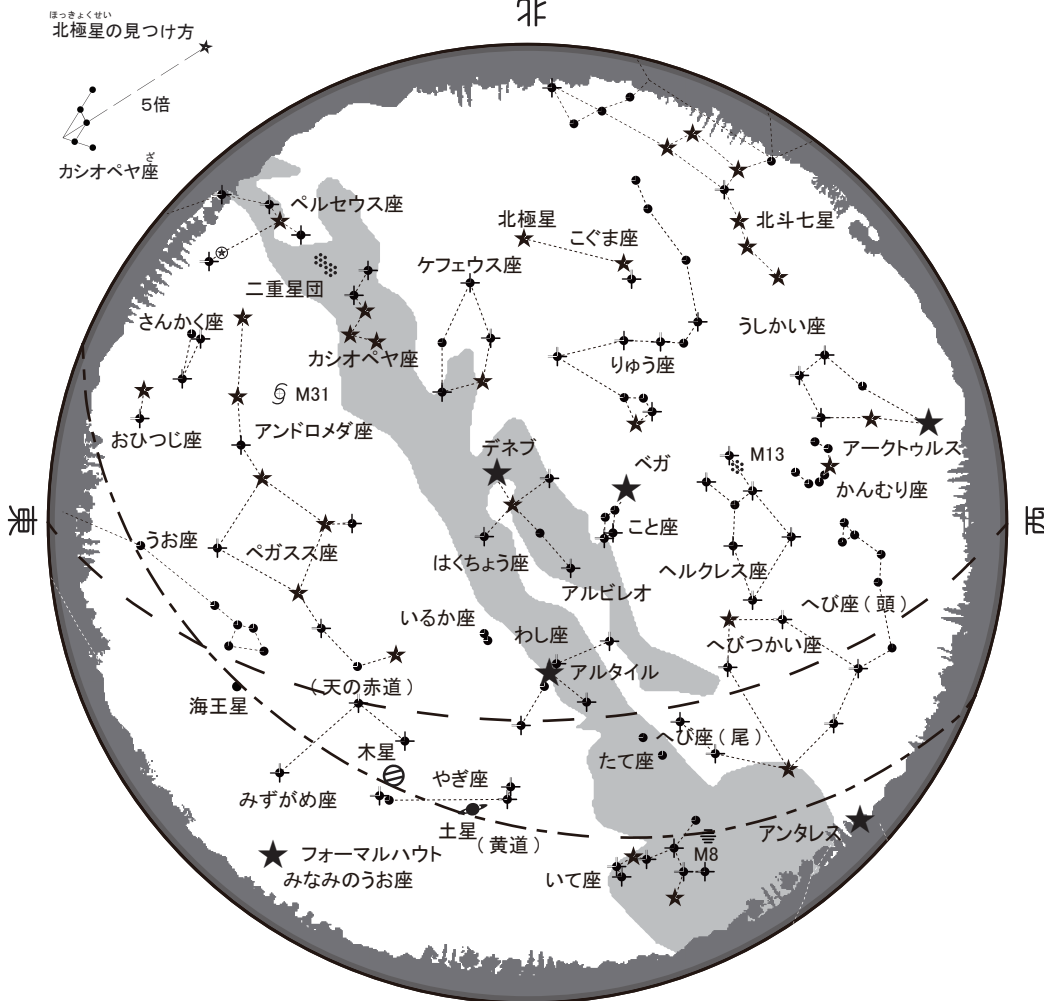


富山で見える 2021年9月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見よう。

北

南

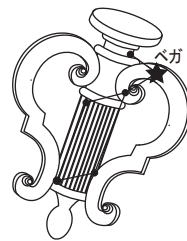


- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ☼ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～
 9月 5日 午後9時ころ
 9月 20日 午後8時ころ
 10月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

9月 7日 新月 ●
 9月 14日 上弦 ◐
 9月 21日 満月 ○
 9月 29日 下弦 ◑



こと座

夏の星空で一番明るい恒星のベガが目印です。ベガは七夕のおりひめ星です。ベガの東側には望遠鏡で見ると二重星が2つ並んで見える「ダブル・ダブルスター」という星があります。また、この星座にはドーナツのような形をした星雲（リング状星雲）もあります。



はくちょう座

夏の大三角の一つである一等星デネブが目印です。この星をしっぽにして、天の川の上できれいな十字の形をつくっています。くちばしの星はアルビレオといい、肉眼では一つの星に見えますが、望遠鏡で見るとオレンジ色と青色の2つの星に見えます。



わし座

七夕のひこ星であるアルタイルが目印です。アルタイルとは「飛ぶワシ」という意味で、とりにある2つの星とともに一直線上に等間隔で並んだ3つの星の並びを飛んでいるワシに見たてたそうです。

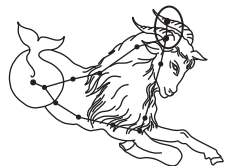


いて座

南の空低いところにあり、ここは天の川の一番明るいところで、天の川銀河の中心方向です。いて座で見つけてほしいのは「南斗六星」。そこから星をたどると、半人半馬のケイローンが弓を射る姿になります。

やぎ座

やぎ座は、暗い星をつないでできる逆三角形の形をしています。ベガとアルタイルを結んで南東へたどると、逆三角形の右かどの二つの星が見つかります。これが太い角の生えたヤギの頭です。上半身がヤギ、下半身が魚の姿を想像してみましょう。



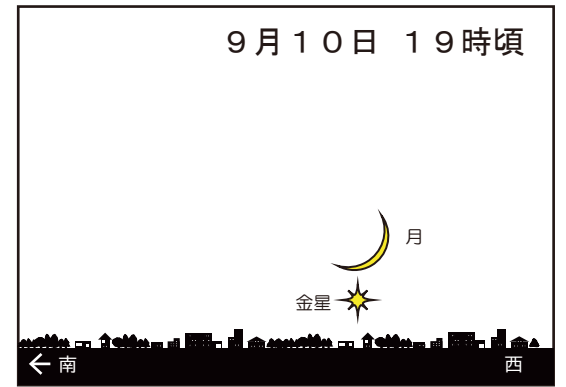
夏・初秋の星座の見つけかた



- 1 頭の真上近くに、とても明るい、こと座のベガを見つけます。ベガとわし座のアルタイル、はくちょう座のデネブでつくる「夏の三大角」を見つけます。近くにある、「やぎ座」「いるか座」も見つけてみましょう。
- 2 ベガとアルタイルを結んで南東へのぼしたところに、ゆがんだ逆三角形の星の並びの「やぎ座」があり、やぎの頭のあたりに土星、魚のしっぽあたりに木星が輝いています。
- 3 「やぎ座」の右側には「いて座」があります。「いて座」の中にあるひしゃくの形をした「南斗六星」から、いて座の星の並びを見つけます。

月が金星に接近！

9月10日、19時頃の西の低空には宵の明星、金星が明るく輝いています。約マイナス4等で輝く金星は、低空にあってもたいへん目立っています。このとき、金星の上側に月齢3の細い月が見えます。秋の細い月は右斜め下側から太陽に照らされているため、「立っている」ように見えます。月の光っている方向に、太陽があることをイメージしながら月を眺めてみてください。月や金星は、携帯電話のカメラなどでも撮影することができます。月や金星の高度が低いところは、地上の風景と一緒に撮影するチャンスです。



月が土星、木星に接近！その後9月21日は「中秋の名月」

日の入り後、あたりが暗くなってきた頃の南東の空に土星と木星が見えています。9月16日から19日にかけて、半月を過ぎた月が、土星と木星の近くに見えます。21日の満月に向かって少しずつ満ちていながら東へ東へと位置を変えていく月と、2惑星の共演をお楽しみください。そして、9月21日の満月は1年の中で最も美しいと言われる「中秋の名月」です。

